

かせんきょりひょう

河川距離標とは

■河川距離標は河口からの距離

河川距離標は、国土交通省の管理する河川において、川の調査や維持管理を行うため、目印に左右岸の堤防に河口を起点として、川を中心を基準に200m間隔で設置しています。

この河川距離標は、阿武隈川河口部から「11.0km」の位置であることを表している。



河川距離標

この杭は、河川管理のために必要な重要な基準点。
(距離標杭)



■河川距離標で速やかな場所の特定

河川距離標は河川利用者の目に付きやすいため、散歩やジョギング時の距離の目安、河川内で発生した事故等の場所を分かりやすく伝える手段として、速やかな場所の特定に繋がるよう、警察及び消防関係部局と連携を強化しております。

河川のご利用の際に事故等に遭遇した場合は、発生場所の通報にご活用ください。

川の流れる方向を向いて
右側が右岸(うがん)、
左側が左岸(さがん)
になるんだよ。

■その他目印になる物を伝えましょう！

その他に橋や堤防上に設置されている樋門・樋管等の名称を目印にすることができます。



《通報例》

- ◆〇〇川で友達がケガをしました！
場所は、阿武隈川の右岸で近くに「11.0km」表示(距離標)があります。
- ◆〇〇川で火災が発生しています！
場所は、阿武隈川右岸(左岸)で槻木大橋の下流(上流)側です。